

「令和6年度 福岡市基本計画に係る実施状況の報告」についての総合計画審議会委員からのご意見に対する回答

分野	ご意見等	対応の方向性等
進行管理について	<p>施策評価を行うにあたっては、なぜこの取組みを行っているのかという理由を整理することで、目指している方向性がより明確になるのではないかと。</p> <p>また、各目標に均等に取組みのではなく、福岡市ならではの強みや個性を生かした戦略に重点を置き、優先順位を付けて取組んでも良いのではないかと。</p>	<p>政策推進プランにおいて、本市の現状と課題や社会経済情勢を踏まえ、優先的に取り組むべき施策分野を重点分野として定めるとともに、基本計画の分野別目標ごとの進捗や課題等を踏まえ、重点事業を選定し、取組みを進めているところです。</p> <p>引き続き、選択と集中を図りながら、効果的・効率的に取組みを進めてまいります。</p>
進行管理について	<p>政策推進プランについて、福岡市が取組み内容を中心にまとめていると思うが、企業や教育機関、NPO等との連携した取組みも盛り込むことで、より包括的で共感を得るプランになるのではないかと。</p>	<p>市民、地域、NPO、企業、大学など多様な主体との共創・共働を進めることを行政運営の基本的な方針の一つとして基本計画に定めており、政策推進プランにおいても、企業や教育機関、NPO等との連携による取組みについて記載しているところです。</p> <p>より包括的で市民の皆様へ共感いただけるプランとなるよう、今後も検討してまいります。</p>
進行管理について	<p>網羅的に評価がなされている点は評価できるが、一方で網羅的過ぎると、市民にとって何が良かったのか、まだ課題が多いのかどうかといったところが相対的に見えにくくなる。</p> <p>そのため、市民の主観的なウェルビーイングを測定し、満足度の高い要素を整理することで、市が重視している取組みと市民が重視している取組みとの間にあるギャップを認識し、そのギャップを埋めるための取組みにつなげていくことが望ましい。</p>	<p>市民の皆様が何を重視されているかを把握することは、施策を推進する上で、重要であると考えております。</p> <p>市民の主観的なウェルビーイングの測定や、満足度の高い要素の整理なども含め、より良い評価方法となるよう、今後も検討してまいります。</p>
進行管理について	<p>個別項目ごとの市民意識だけでは全体への貢献度が見えにくいいため、個別の評価に加えて、全体に対する貢献度を測定することが望ましい。</p>	
進行管理について	<p>成果指標の目標を達成していないにもかかわらず、「順調」と評価している施策があるが、施策の評価は市民にも分かりやすいものを設定した方がよいのではないかと。</p>	<p>施策の評価については、成果指標の達成状況のみならず、事業の進捗状況等を含め、総合的に勘案し、評価を行っております。</p> <p>評価のあり方については、より分かりやすいものとなるよう、引き続き検討してまいります。</p>

「令和6年度 福岡市基本計画に係る実施状況の報告」についての総合計画審議会委員からのご意見に対する回答

分野	ご意見等	対応の方向性等
進行管理について	第10次基本計画における指標のうち、第9次基本計画から継続して設定されているものについては、目標値の比較がしやすいように併記するなど、表記を工夫してほしい。	第9次基本計画から継続して設定している指標につきましては、目標値の比較がしやすくなるよう、表記方法の工夫も含めて、より分かりやすいものとなるよう検討してまいります。
進行管理について	現状の施策の評価や指標の達成状況では、効果がまだ出ていない、あるいは、変化が見られないものが把握しづらいため、来年度の予算をどうするかや施策の継続・見直しを検討するうえでも、その部分を明確にするために「現状維持」という評価を切り出してはどうか。	進行管理のあり方や施策の評価方法については、より分かりやすいものとなるよう、検討してまいります。
<p>施策 1-8 自ら考え、学び、行動する 子ども・若者の育成</p>	学校の教育活動に対する満足度について、目標値と現状値が乖離しているが、満足度が上がらない要因として、具体的にどのような課題や問題があり、どのような対策が必要なのかなど、詳細に分析をした上で、対策を講じていく必要があるのではないか。	<p>成果指標のうち、「②学校の教育活動に対する満足度」については、子育て世帯ではないために、「わからない」または無回答とされた方もいらっしやると考えられることから、補完指標として、②から「わからない」「無回答」を除いた割合を③で示しており、こちらについては、満足度は上昇傾向にあります。</p> <p>教育施策の推進にあたっては、引き続き、課題を分析のうえ、その解消に取り組んでまいります。</p>
<p>施策 1-8 自ら考え、学び、行動する 子ども・若者の育成</p>	教育問題に関しては、子どもだけではなく、保護者の意識の把握も必要ではないかと思う。	<p>保護者の意識の把握については、分野別計画である「教育振興基本計画」の進捗管理の中で、保護者に対するアンケートを実施しております。</p> <p>教育施策の推進にあたっては、引き続き、児童生徒や保護者等の意識の把握に努めてまいります。</p>
<p>施策3-3 安全で快適な生活基盤の整備と 災害に強いまちづくり</p>	<p>物価の上昇や建築費の高騰が大きな課題となっている。</p> <p>福岡市の特性としては民間のマンションが多いため、公有施設だけでなく、民間住宅の更新についてもしっかり支援をしていくべきだと思う。</p> <p>また、これまでどちらかという建て替えを促進してきたかと思うが、今後はリノベーションや改修を市全体で進めていくということを様々な施策に取り込んでほしい。</p>	<p>民間住宅の建替えや改修などの更新については、利用可能な助成や税控除等の情報提供、専門家による相談対応などの支援を行っており、なかでも分譲マンションに対しては、長期修繕計画の見直しや建替え等の検討に係る助成、マンション管理士による相談対応や管理組合への派遣などの支援を行っております。</p> <p>引き続き、福岡市の住宅の状況や社会情勢の変化等を踏まえながら、必要な支援等に取り組んでまいります。</p>

「令和6年度 福岡市基本計画に係る実施状況の報告」についての総合計画審議会委員からのご意見に対する回答

分野	ご意見等	対応の方向性等
<p>施策 3-7 日常生活の安全・安心の確保</p>	<p>感染症に強いまちづくりを推進してきたとのことだが、目標未達成の指標に係る分析や、第10次基本計画の策定が2年間先送りになった理由として新型コロナウイルスの影響を挙げている中で、第9次基本計画の最終年における感染症対策の分析や位置づけが小さ過ぎるのではないか。そのため、第10次基本計画にも生かされていないのではないか。</p>	<p>感染症対策については、福岡市感染症予防計画（令和6年3月策定）に基づき、健康危機管理体制の強化に取り組んでおります。また、令和7年6月策定の政策推進プランにおいて、重点事業に位置づけているところでございます。 いただいたご意見は、令和8年度末に策定する、次期福岡市保健福祉総合計画において整理してまいります。</p>
<p>施策4-3 持続可能で未来につながる 脱炭素社会の実現</p>	<p>福岡市が目標に掲げる2040年度の温室効果ガス排出量実質ゼロについては、現状の指標では目標に対する進捗状況が分からないため、目標達成に向けた取組みを推進するための指標やデータが必要ではないか。</p>	<p>政策推進プランにおいて、市域の温室効果ガス排出量（2013年度比）を指標として設定しております。 引き続き、脱炭素社会の実現に向けて、市民、事業者と一体となって取組みを進めてまいります。</p>